

学科名	放送芸術科
コース名	
授業科目	映像リテラシーF2
必選	必
年次	2年次
実施時期	後期
種別	講義
時間数	30
単位数	2
担当教員	平岩モトイ
実務経験	有
実務経験職種	CMディレクター、クリエイティブ・ディレクター
授業概要	テーマごとにふさわしいアーカイブ映像を視聴し、「サンプル視聴」→「ポイントの整理」を繰り返すことで、なぜその表現が作られたのかを理解する。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・映像手法のパターンを知ること、自分の仕事に応用ができるようになる。 ・映像の本質を理解することができる。
授業方法	生徒の積極的な参加を促すために「アンケート」「レポート」を適宜実施する。やむを得ず、内容が前後、または変更する場合がある。
成績評価方法	学期末に試験を行う。成績は試験結果と出席率の総合評価。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。
履修上の注意	遅刻・途中退出をしないこと。（正当な理由がある場合はその旨、申し出ること）内部資料を扱うことがあるため、授業で知り得た情報をSNS等へ書き込むことを禁ずる。授業中の飲食、スマホ、ゲーム機の使用は禁止する。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に提示する。

授業計画	
第1回	音と映像 CMは映像半分、音半分と言われる。音の重要性を理解する
第2回	コマソン コマソンがどのように作られるかを知る
第3回	子役 子役の重要性を知る
第4回	外タレ 外タレがどのように愛されてきたかを知る
第5回	素人・老人 素人タレントの底知れないパワーを理解する
第6回	制服 映像における制服の役割を理解する
第7回	ヒーロー 制服から見たヒーロー像を知る
第8回	ダンス1 ダンスと映像の親和性を理解する
第9回	ダンス2 続々と作られるダンスCMについて理解する
第10回	映像心理学①恐怖訴求 人を怖がらせることで、ものが売れる？恐怖訴求の実際を知る
第11回	映像心理学②射幸心 人が持つ射幸心について理解する
第12回	映像心理学③比較・実証 人は見たものを信じる。実証CMの効果を知る
第13回	映像心理学④映像とプレゼン プレゼンに映像が使われる理由と意味を知る
第14回	海外CM 日本CMと海外CMの違いを知る
第15回	まとめ 総括